

Kanazawa Traditional Arts & Crafts

2009 Autumn

Vol.9

世界が認めた金沢の工芸品

8

金沢九谷 Kanazawa Kutani ceramic ware

6

Kanazawa lacquerware

4

山村真一(株) コホイヒ表取締役/古場田良郎/飯尾 豊/高屋喜久子

10

金沢箔

伝統の手仕事、金沢から世界へ。

2 秋元雄史金沢四世紀美術的智士を沢のクラフトと文化意識。

People involved in the production of Kanazawa lacquerware 金沢工芸職人を訪ねて金沢漆器に関わる人々 希少伝統工芸 Rare traditional crafts

20

18

16

金沢

azawa Buddhist altars

加賀友禅 Kaga Yuzen dyei

22 金沢伝統工芸ショップガイド









### しっくりくる 派手×派手が 掛け合わせの妙味

性的で、それぞれに力強く見る の器。ひとつひとつはとても個 美しく彩られた焼き物や塗り物 る朱塗りや藍の壁。それぞれに とえば旧家や老舗料亭に見られ 多いまちですが、私は金沢は派 とりした」と形容されることが 手やかなまちだと思います。た 金沢は「落ち着いた」「しっ

アジアで初めてユネスコの創造 センスも磨かれているのでしょう。 付いて長い間大切に伝えられて 生まれる。それは、この地に根 われるしっとり感や落ち着きが 使うことで「金沢らしい」と言 日常的に触れることで使う側の きたからこそ生まれる妙味だと 今年6月にクラフト分野では もちろん、それらに

ものに語りかけてきます。

ただ、それらを組み合わせて

認められてのことだと思います。 からわずか半年で受けられたの も、そうした金沢らしい個性が

### 伝統が生きている 金沢の生活には

られます。 あり、 はなく、人々の日常からも感じ しさは、伝統工芸の世界だけで 外から見るととても日本的で 江戸的ともいえる金沢ら

るのではないでしょうか。 冠されるものを今につないでい 違和感なく抹茶がなじんでしま ともいえる会議室で出されても、 ます。そうしたことが、 事も金沢では盛んに行われてい か。四季折々に季節を楽しむ行 れたことがありました。無機的 る前に出席者に抹茶が振る舞わ 任して間もない頃、ある企業 う空気感とでも言うのでしょう の会議に参加した際のことです 「お茶をどうぞ」と会議が始ま 私が21世紀美術館館長に就

美術と工芸の一番の違いは、

都市ネットワークの登録を申請

飾って美しいものか使って美し ないでしょうか。 り、使う側もまた知らず知らず で作り手のポテンシャルも高ま ています。使い、 芸は、器しかり、 その点で言えば、金沢の伝統工 いものかにあると私は思います。 に文化意識を高めているのでは 「使われる」場を多く与えられ 使われること

いくかの選択が重要です すが、何を改革し、何を残して ことが良いとされがちな時代で 今は、新しいものに対応する

同じくらい重要なのが、それ

す。藩政時代には前田家当主 が優秀なプロデューサ 「金沢らしさ」の未来を作ってとで金沢の伝統工芸、ひいては ひとりひとりが考え心がけるこ 民間も関係なく、 た。現代は、その役目を行政も 金沢の工芸を世に売り込みまし らをどうプロデュースするかで 金沢に住まう



### 金沢 21 世紀美術館館長

金沢 21 世紀美術館館長

まきもと ゆう じ

大人 工 上上

Akimoto Yuji

1955 年東京都生まれ。東京芸術大学美術学部絵画科卒業。1991 年から 2004 年 6 月まで (株) ベネッセコーポレーションに勤務。美術館の運営責任者として国吉康雄美術館、ベネッセアートサイト直島(旧・直島コンテンボラリーアートミュージアム)の企画・運営に携わる。直島では「直島スタンダード」展などを担当し、民家、路上など直島全体を会場とした屋外型美術展を開催した。2007 年 4 月より現職。

ディテールに見え隠れする 金沢の DNA を感じてくだ さい。

### 古場田 良郎

日産自動車デザインセンターを経て 事務所を開設。日用品、家具、車両 情報機器、産業機械など幅広い商品 のデザインから、地場産業振興や海 外のデザイン振興も手がける。



目指したのは、伝統工芸 による金沢のブランディン グです。

### STUDIO YUTAKA 飯尾 豊

lio Yutaka

ミラノに STUDIO YUTAKA を開設し、 約20年間、主に照明器具のデザイ ンに携わる。2005年に帰国し、デ ザイン活動のほか、ヨーロッパ企業 との業務提携コーディネートを行う。



ものづくりに、人の心に 響くストーリーを込めまし た。

### 株式会社ケイアイデザイン 高屋 喜久子

Takaya Kikuko セイコーエプソンでウォッチデザイ ン、京セラでキッチンツールの商品 開発に携わる。現在は金沢市に事務 所を構え、グラフィックデザイン、プ ロダクトデザインを手がける。

### 古場田デザインスタジオ

Kobata Yoshiro

るものづくりの考え方。 工芸職

### のなのか。 多くの商品が生まれ、 の最終形を現していった。 糸とする新商品がだんだんとそ ザイナーの感性とアイデアを横 熱い討議が交わされる中で、 沢のエッセンスは感じられるか。 働きかけることができるか。 そのモノは誰に発信していくも り返しミー 人の技術と情熱を縦糸とし、デ プロジェクトの成果として数 企画書や試作品を並べ、 同時に

欠かせない要素だ。 工芸業界内の横のつながり。 人とデザイナーとの連携。

見えない成果も生まれた。

売 れ

れも継続可能なものづくりに その意味で、 11

地が自ら考え、 ものづくりを通

職 金

使う人の気持ちに ティングが行われた。 た成果は

Ę

ブロジェクト

伝統

のかたちであると言える。「産 いと考えているのは新しい産地 山村氏が最終的にデザインした

体的に「商品」を企画・開発と

伝統工芸の作り手が主

が提案するので

していく手法が採られたことだ。

コーディネータとして全体の

数多くの企業が参加して今年3

トした。

最大の特徴

主催する金沢市の呼びかけに応 発プロジェクトには、イベントを

金沢の伝統工芸業界から

は一線を画している。

新商品開

セ 2009」に並ぶ品々はこれと

して開催される、「おしゃれメッ

バルに発信することを目指

進については、

(財) 石川県デ プロジェクト推

も造詣が深い。

ザインセンター事務局長の志甫

ではなかった。

金沢発のライフスタイルをグ

ざまなコラボ作品が生まれてい

しかしそれはあくまでデザ

の「作品」であり

「商品」

氏調

整役を務めたのは山村真一

地域産業の活性化で実績が

あり、

金沢の伝統工芸について

金沢を含め国内の各産地でさま

その手法は新

しくはない

氏という経験豊富な地元デザイ

が各企業にマンツ

郎氏、飯尾豊氏、

高屋喜久子

りの細かな工程では、 雅人氏も一役買った。

古場田良 ものづく



実はそれが

工芸職人とデザイナーによる共同開発プ ロジェクトで生まれた「モノ」と「コト」。

加賀友禅ストール 石川県染物商工業協同組合

Kaga-yuzen Stole Ishikawa Dyeing Commerce & Industry Cooperative Society TEL.076-231-6661

装いのアクセントにストールを用いる なら「ほんもの」にこだわりたいもの。 加賀友禅の着物に用いられる高品質 のシルクを用いたストールは、加賀 友禅作家による手描きの文様が入っ た逸品のほか、グラデーションや多 色使いなど色で遊んだものなどバリ エーション豊富。¥5,250~



確立されている産地だという。 る。 この仕組みこそがクリエイティブ されようとしている。 金沢ブランドが今、 伝統の手仕事を金沢から世界へ ているとの意識を共有している。 金沢の伝統工芸に追い風が吹い た。プロジェクトのメンバーは ラフト分野への登録が認定され コ創造都市ネットワーク」のク な産地のかたち」と山村氏は語 地に新しい情報がもたらされる。 したクリエイティブな仕組みが して社会に提案する。すると産 今年6月、 今後生き残っていくのはこう 国内でも、 金沢市は「ユネス 世界を見渡して 世界に発信

新商品開発 総合コーディネータ

それは作品なの

商品なのか

工芸職人×デザイナ

芸分野の新商品開発にお

新しさを世界発信する視点が必要です。古き良きものを大切にしながら、ユネスコのクラフトシティとしてスター



### ㈱コボ代表取締役社長 山村 真一

Yamamura Shinichi インダストリアルデザイナー。デザイ ンコンサルタント。三菱自動車工業で チーフデザイナーとして「ギャラン FTO」 -「ランサー」の企画デザインを手がけ る。1973年コボを設立。素材開発から 流通まで技術を商品化するトータルデ ザインを行う。数多くの企業のブランドメイキングプロジェクトに携わるほか、 地域産業の活性化の分野でも実績があ る。著書に「デザインが企業を変える」 (日刊工業社) など。

たい、 えるデザインの開発を目指した。 の金沢に暮らす人々が、使い 金沢の工芸の世界発信への近道 る」と語るように、 普遍的価値のものづくりに繋が 結する小さな仕組みのようだが 地産地消というと地域の中で完 いわば伝統工芸の地産地消だ。 社は今回そこに体当たりし、 志甫氏が「地域性を重視する -ダーで、 生活に取り入れたいと思 世界に発信していける

普遍的価値

から

を読むということが何より難し てシンプルだが、このトレンド は、消費者が欲しがっている商 営む上坂審一氏は「売れる商品 そもそも売れる商品とは何 上坂氏をはじめ伝統工芸各 おしゃれメッセ工芸部会の 言葉の上ではいたっ 市内で桐工芸店を 今

5 SUTEKI Autumn 2009 4

くても、 でそれぞれの 多数所蔵されています。「お姫宴の様子を偲ぶ雛と雛道具が が金沢のおもてなしの文化の源 にしています。そうしたところ 様の使った銘品というわけでな 沢市の成異閣にも、 品々が数多く伝えられている金 賀藩主前田家の奥方ゆかりの 晴々しく嬉しい行事です。 祭りは、今も昔も女性にとって のが通例だったといいます。 調度とともに雛道具を整える 期の大名家の婚礼には、 一節に各家庭で催される雛の足音が聞こえ始める季 金沢ではそれぞれの家 『お道具』を大切 と高屋氏は言い 往時の雛の 婚礼 藩政 加

金沢漆器の老舗、

雛だ嬢は

かしの器たたくめ

な

彩漆 長手組盆 (5 枚組) 能作

Lacquered long nested trays

 $W310 \times D120 \times H140 \, mm$ 

NOSAKU

¥84,000

盃台 能作

Sake cup stand NOSAKŪ

 $\varphi$  90 imes H60 mm

¥ 10,500

姫引盃 (1枚) 能作

Small sake cups

 $\varphi$  70 imes H20 mm

NOSAKU

¥ 6,300

ラミッド状に重ねることができ、

台と姫引盃を合わせて

ざりとした佇まいは、

に仕切りをセットすれば、枚の盆は入れ子になるが、

囲むホ 活に取り入れやすいこと」を第 それが粋でしゃれている」と話 金沢漆器について「ふちが薄く、 面でも、また価格の面でも「生 品の良さを活かし、デザインの 一に考えました。 したテーブルウェアの開発です。 高屋氏。金沢漆器ならではの ムパーティをイメージ

らず五節句や誕生日など折々のテーマにしながらも、これに限完成したのは、桃の節句を た商品も良いが、買った人が使 からは「あらかじめ用途を絞っ 調度の数々です。デザイナー陣 い方を考えるというのも一興」 -ムパーティに活躍しそうな

を迎える娘さんやお孫さんを 作が取り組んだのは、 桃の節句

朱色が現代の

上げた

ではな

は菱形が個性的。



### 左: 弁柄拭漆 菱形弁当箱

Wipe-lacquer diamond-shaped lunch box NOSAKU ¥10,500 / W190 × D110 × H140 mm

### 右: 弁柄拭漆 盛器 能作

Wipe-lacquer box  $\pm$  6,300 / W150  $\times$  D150  $\times$  H60 mm

贈か金 物の沢

### 和と洋を自在に行き来する 漆器の魅力

お問い合わせ:金沢漆器商工業協同組合(金沢商工会議所内) TEL.076-263-1157 Inquiries: Kanazawa Lacquerware Manufactures Cooperative Association (c/o Kanazawa Chamber of Commerce and Industry) Tel.076-263-1157



7セントに散らした角皿。 仕焼の色絵を加飾し、金箔を 】青海波、梅などのレリーフに <sup>塗ったタイプもある。</sup> ノルセッティングに用いても。 回じシリーズの小皿と合わせて 可が似合うか、和菓子が似合う や印鑑などを入れてお



### 上: 小紋彫色絵幾何紋 小箱 九谷焼 長寿堂 Paulownia box with a ceramic lid

with geometrical design 小箱:桐 Paulownia box 小箱:塗黒内朱 Lacquered box with black exterior and red interior 蓋:小紋彫色絵幾何紋 Ceramic lid with geometrical design CHOJUDO 桐仕様:¥6,825 / W100 × D100 × H78 mm

塗黒内朱仕様:¥8,400 / W98 × D98 × H58 mm

### 下: 小紋彫色絵幾何紋 角皿 九谷焼 長寿堂

Square plate with geometrical design

大:¥6,825 / W142 × D142 × H20 mm 小:¥4,725 / W98 × D98 × H15 mm

を受け、 ある金沢九谷の名品の数々を鑑賞 館やギャラリ いきます。 窯となっていた九谷焼を再興しよう 京都の名陶工、 /それより約百五十年前に廃/化三(八○六)年、加賀藩は 金沢九谷文化が花開いて 以来加賀藩の厚い庇護 金沢市内の美術 青木木米を招 こうした歴史

赤絵金彩、 金襴手、 性のある商品を展開 長寿堂、 今回のプロジェク 花詰などが 諸江屋 使い手を

できます。

意識した新たなセンスの商品も生 品を企画しています。 各社が異素材との融合による新商 では鏑木商舗、 まれています。 特徴の金沢九谷ですが、 , るのは、 「九谷焼ワイングラス」

のガラス職人による手吹きガラス

提案しています。

九谷焼と石川県

らし、華やかさを演出しました。

諸江屋は食のシーンからは離れ

ユニークなシルエットの香炉を

Square bowls with Genji-ko design

 $\pm$  13,650 / W80  $\times$  D80  $\times$  H50 mm

(six-piece set)
KABURAKI SHOHO

九谷焼 諸江屋

MOROE-YA

九谷焼 諸江屋 Glass incense burner with Kutani Yoshidaya design

期的と、

古場田氏も高く評価して

Glass incense burner with Kutani Eiraku design

 $\pm$  52,500  $/\varphi$  110  $\times$  H130 mm

 $\pm 29,400 / \varphi 110 \times H130 \,\mathrm{mm}$ 

のアドバイスで金箔をランダムに散漆塗りの小箱があります。飯尾氏 な九谷焼のプレー に似合う上品なデザイン。 五彩を「遊合」 高屋氏のアイデアで源氏香と九谷 を世界に知らしめている鏑木商舗 ンを蓋として用いた桐の小箱や 長寿堂の商品もおもてなしの タルに揃えています 向けのアイテムを させたグラスや器 同じデザ フラッ 席



9 5

手な空間に

わが家を

贈か金 物の沢

お問い合わせ:金沢九谷振興協同組合(九谷焼鏑木商舗内) TEL.076-221-6666



### 箔が語る の一場面

います。 が合わさり、 まな輝きを放つ商品が生まれて 感性と金箔工芸職人の高い技術 者は喜んで買う」と高屋氏。そ れぞれのデザイナ ノにストーリーがあれば、※レーション」と語る飯尾氏。 タイルの主流は異素材のコラボ する古場田氏。「今のライフス そこで真価を発揮するもの」と 時を超えて生き残り、ザインは装飾ではない。 箔のようにさまざ ーの瑞々しい 消費 ゠

自社工場で打った箔そのもの

るため、 組み合わせた独創的な商品を 技術に取り組み、 伐材の利用に乗り出したのは箔 用の広がりも期待されています。 術を開発したことで、今後の応 品。 は、 れてこなかった間伐材を活用す エコの観点から金沢の里山の間 これまで工芸の分野で使わ ガラスに箔を挟むという技 飯尾氏とともに合板化 箔と木と革を

0) 仕上げました。 プトで今井金箔が開発したの 美しさを見せるというコンセ 箔一は高屋氏の

> | 犀川、 な袋物を展開し、ファッション のストーリーを結びつけていま 分野にも挑戦しています。 ムに箔をあしらったカジュアル リントする技術を有する地元ア ムを展開。金沢を流れる男川 まわりのアイテム、女性のドレッ アドバイスを得て男性のデスク レル企業と独自に連携。デニ ーまわりの二ラインのアイテ さくだは純金箔を生地にプ 女川=浅野川と商品





### 上: 手鏡 流線春秋 <sup>金箔工芸</sup> 田は

Hand mirror with design of streams and seasonal features TAJIMA GOLD LEAF CRAFT ¥2,625

### クレオパトラ (参考商品) かなざわカタニ Gold face-pack Cleopatra

中: 黄金フェイスパック

(product sample)
KANAZAWA KATANI

 $\rm W132 \times D262 \times H10\,mm$ 

手に取るのが 手に取るのが 等しみなる雅やかさ。 楽しみなる雅やかさ。 いつも身近に置いておく アイテムだからこそ、 上質なものを選びたい。 【中】お肌に貼ると 美肌、美白効果が あると云われるエステ金箔を あると云われるエステ金箔を もあるとっている。 優れるパックになっている。 ムをご家庭で。

鏡は、

### 心つつみ

Gold-leaf decoration HAKUZA

大:¥21,000 / W70 × D70 × H70 mm 中: ¥18,900 / W70 × D70 × H40 mm



和合せと金箔加飾により、 木・革・布の異素材の 持ち味を活かした。 やの森に差し込むひかりを、ザインは、間伐によって **八切におさめるための** もり、愛用のものを

贈か金りら 物の沢

【左】伝統文様の七宝に、

贈か金 りら 物の沢



夏の加賀友禅が新登場涼を呼ぶ

ど格が高い着物が主流で、 色留袖、

「の鮮ヤナ」していく加賀友禅。下絵、精賞で完成するその美しさは、誰もがで完成するその美しさは、誰もがの鮮ヤナ」 ていく加賀友禅。下絵、糊置き、の鮮やかな角の上に、花鳥風月 訪問着な

> しカジュアルな着物「なつごろも」 絹紅梅は透け感のある絹の生地 -ズが登場しました。 しい装いとして愛されてい ーティなどの華やかな場に 今回は絹紅梅を使った少

残り、涼しげなアクセントとなっから、綿糸の部分が格子状に白くから、綿糸の部分が格子状に白くまれた生地です。加賀友禅に用いまれた生地です。加賀友禅に用い 熱帯魚といった夏らしく個性的な な加賀友禅柄のほか、 格子状に太い綿の糸が織り込 もちろん第一線で活躍する フを描いたものも揃ってい 何柄のほか、ひまわりや図案については伝統的

> 問着未満でお出かけ着として活躍 させたい一枚です。 の良さが漂います。 加賀友禅作家が手がけています 夏の単衣の着物といっても品

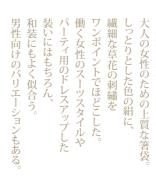
られます 節です。帯をキュッと締めれば背夏こそ着物の醍醐味を感じる季 つごろも」で、 にも涼しげでとてもおしゃれ。「な 筋も伸び、 物を着る時期は7 れますが、着物好きにとってはを着る時期は7月~8月に限一般的に透け感のある夏の着 外では日傘を差せば、 指したいものです。 気持ちも凛とします。 夏の着物美人を 見た目





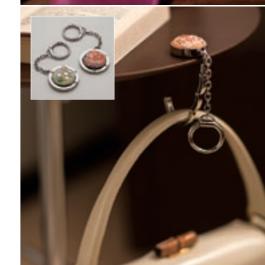
撮影場所:成異閣





でで で 携帯したい さ、豊かさを演出する さ、豊かさを演出する ハッグを掛ければ

として使える



# 加賀繍×桐のニュー

が進められた新商品開発のプロ の組み合わせが模索されました。 ジェクト。 を生かした新しいアイテムの開発 HAA 大大を通して、お互いの長さ素材、異業種のコラボレ 加賀繡も金沢桐工芸と お互いの長所

江戸時代から藩主の陣羽織や

田氏が強調したのは、 なって企画を進め「着物を着ない 同組合では若い女性職人が中心に ます。今回、 賀繡は、今も着物や帯など和装 奥方らの着物に用いられていた加 思わず手に取りたくなるようなモ 小物への加飾がメインとなってい ノ」の開発を目指しました。 古場 /を身近に使いたいと思って 加賀繡について知らない方も 石川県加賀刺繡協 すてきなモ

> 加賀繡が持つ高い技術と手のぬく 合うように装飾は控えめに。でも 生活者の視点です。今のセンスに もりは残して。

フェイス

限に引き出す場であると語る古場 芸業界、工房、作家の能力を最大 ドを表すものだと言えます。 意味合いもあり、加賀繡のプライ 田氏。加賀繡の新しい担い手の の作品発表の場ではなく、伝統工 ンドを守るためのしかけとしての アクセントにもなりますが、 商品につけました。 デザイン的な 今回のプロジェクトは、デザイナ 十分に引き出すことができた 組合名を入れたタグを一部の ブラ

組合では初めての取り組みとし

Inquiries: Ishikawa Kaga Embroidery Association (c/o KOBAYASHI EMBROIDERY) Tel.076-291-5150

上記掲載の商品は金沢クラフト広坂でも販売しております。 TEL.076-265-3320 The above products are sold at Kanazawa Craft Hirosaka. Tel: 076-265-3320

お問い合わせ: 石川県加賀刺繍協同組合(小林刺繍舗内) TEL.076-291-5150

贈か金 物の沢

### 上: 加賀繡箸袋 小林刺繡舖

Chopstick bag KOBAYASHI EMBROIDERY ¥3,150 ~/W 50 × L250 mm

### 下: バッグハンガー/キーホルダー 宮越仁美 繍工房

Bag hanger / Key holder HITOMI MIYAKOSHI **Embroidery Workshop** ¥ 15,000  $/ \varphi$  50 mm

ŧ

壁を飾るア ルの上でトレイとして、芸上坂が桐で表現した。

の一つである肉入れ繡をした。入れる加賀繡の ースとして使りーからは大切な人に渡すり、

### 上:加賀繡アートトレイ 石川県加賀刺繍協同組合

Tray with inlaid embroidery decoration under glass Ishikawa Kaga Embroidery Association  $\rm W250 \times D170 \times H12\,mm$ 

### 下:加賀繡の小箱 葭ヶ浦繍工房 繭鳥

にほどこした加賀繡の 金糸、銀糸を用いて

Box with embroidery decoration YOSHIGAURA Embroidery Workshop 大: ¥15,000 / W80 × D80 × H80 mm 小: ¥8,000 / W50 × D50 × H50 mm

## を調節できること。 **888888888888** 都市型仏壇四角 BOX タイプ 金沢仏壇商工業協同組合 Modern square-box-type Buddhist altar Kanazawa Buddhist Alter Manufacturers Association

### 真宗大谷派 金沢仏壇 16号 (50代) 本三方開き

Kanazawa-style Buddhist altar size 16 NUSHIOKA Buddhist Alter Shop ¥3,850,000 / W650 × D570 × H1,460mm



藩主前田利常公の時代からです。

祈り

をもっと身近に

金沢

公垣の新-

い提案

アッション産業都市金沢を 発信する「おしゃれメッセ」

ご先祖をお祀りする仏

の間に深く浄土真宗の根が下ろ蓮如上人の布教活動により庶民

とらわれず、 フロー 合では近年、現代の住宅事情にいます。金沢仏壇商工業協同組 合わせた仏壇の開発を通して新 な仏壇など。 なく安置できるインテリアライク ています。 しい先祖供養のかたちを提案し 室に収まるコンパクトな仏壇や しかし仏壇のニーズは変化して リングのリビングに違和感 たとえばマンションの

のライフスタイルに合った意匠に

家族の心のよりどころに

りにすることはできません。 壇だけは「おしゃれ」とひとくく

現代

きわめて高かったとい されていたことで、

仏壇の需要は います。

仏壇の製作は完全分業で行

各工程で木地師、 蒔絵師、

塗師、

金

彫刻師らが腕を

品開発プロジェクトに関わったデ

囲にほどこすなど、

集大成であり、仏教すなど、金沢仏壇は 。豪華な蒔絵を広範

は強く訴えます。

美術の域にまで到達するものも少

祖に手を合わせてほしいとの願い

 $\$800,000 / W 450 \times D 450 \times H 545 mm$ 

撮影場所: SLOW HOUSE At SLOW HOUSE

求められることを、

今回の新商

振るいます。

相応しい精神性と格調の高さが

済産業大臣指定伝統的 台品仏壇仏具展で 第19回全国伝統的

### 金沢仏壇 20 号 (70代) 大竹仏壇製作所 匠楽

Kanazawa-style Buddhist altar size 20 OHTAKE Buddhist Alter Shop

 $\pm$ 3,800,000 / W 660 × D 600 × H 1,610 mm



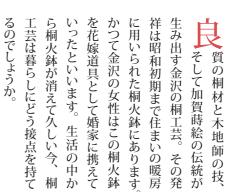
贈か金りら 物の沢

## ムなデザインながら、

## ルに、小物入れに 上云

物入れよりひとまわりい込むほどに色艶と渋みを増す は焼いて煤を落とした後、 子にもなる。 る小物入れで、 手触りもよく わせるかたちから 仕感が漂う。

桐の変幻自在



をとらず、 運びが容易というメリットもあ くなるような存在感をイメージ しました。桐は軽いため、 にエントランスを想定し、場所 工芸上坂が考えたのは、昭和30 兼六園近くに店を構える桐漆 40年代の火鉢をもとにしたス ールでした。 使うシーンは主 座面の高さは高屋氏が むしろ客人に見せた 持ち

げやすさ、収納といった実際に座ってみて吟味。 た。 でもブラッシュアップを重ねまし 一方、 持ち上

わり、 は、 絶賛しています。 ぶ木目の美しさ、そして轆轤挽 斬新な発想、曲線の木肌に浮か 得できる色味を引き出しました。 ンスのある「黒」の表現にこだ シリーズを提案します。ニュア を轆轤で丸く挽いた「コゲダマ」 見直すという意味も込めて、 端を発する金沢桐工芸の原点を 注目を集めている岩本清商店 をくすぐるカジュアルな商品で きの技術の確かさは、 レイ」など若い女性のこころ 轆轤挽きで作った桐火鉢に 拭き漆を塗り重ねて、納 飯尾氏も 桐

収納といった機能面

Kogedama: wooden ball case (paulownia) IWAMOTO KIYOSHI SHOTEN

これまで「ちょこっと

コゲダマ 岩本清商店

贈か金 物の沢

> 室内での持ち運びも容易だ 驚くほど軽い桐。 金沢桐工芸の特徴である した桐の風合いを キッチン、 ルにあしらった。 縁側へと、

っとりとした表情とはうらはらに

小ぶりなものはエントランス!小物が収納できるスペースが

太陽: $\$9,450 / \varphi$  106 mm 地球: $\$7,350 / \varphi$  75 mm 月:¥5,250 / φ 61 mm 一輪ざし:¥6,300  $/\varphi$  106 mm

### 上記掲載の商品は金沢クラフト広坂でも販売しております。 TEL.076-265-3320 The above products are sold at Kanazawa Craft Hirosaka. Tel: 076-265-3320

### SUTEKI Autumn 2009 18



19

\$

理由が

# People involved in the production of Kanazawa lacquerware

### 約三八〇年の歴史を持 高度な技法が 生み出す 品格漂う一品モノ う 加賀 万石 0) 漆工芸。

を代表する高台寺蒔絵の高名な作代藩主・前田利常公が、桃山文化代藩主・前田利常公が、桃山文化 工芸品に指定。 の名工らが招かれ、 わった独特の漆工芸として発展しま 文化の優美さに力強い武家文化が加 たことから金沢漆器の歴史が始まり 昭和五十五年三月には国の伝統 五十嵐道甫を指導者として招い 明治以降も多くの名工を輩出 その後江戸からも印籠蒔絵 現在も茶・華道具 金沢漆器は貴族

> 用されています。 させる調度品として多くの人々に愛を中心に、加賀百万石の遺風を感じ

漆器は、 されているのです。 くの職人の手を経て一品ずつ生み出 された工程があります。 きますが、 「下地・布着せ」「塗り・研ぎ」「蒔 般に漆器の制作は大きく「木地」 の4つの段階に分けることがで 蒔絵師をはじめとする数多 それぞれの段階に細分化 優雅な金沢



原木から木取りをし、 程で



す。職人の正確な寸法取りにより、挽きなどの手法で木地を作る工



### 賀蒔絵の特徴的技法である肉合研出蒔 などを蒔きつける加飾技術です。特に加 蒔絵は漆で模様を描き、そこに金・銀粉 きえ)は高度な技術

が必要とされます。

### Kiyose Akihito **菊小紋蒔絵名刺入れ** 金沢漆器商工業協同組合

清瀬 明人作

Business card case with chrysanthemum pattern Kanazawa Lacquerware Manufacturers Cooperative Association 大人の粋を感じさせる名刺入れ。



わずかなちりも付着させないよう細心 術が問われる部分です。最後の上塗は 天気や温度、湿度に左右され、職人の技

### 清瀬 明人 作 Kiyose Akihito

0)

漆が乾いたかどうかの見極めは日々

し、下塗・中塗・上塗と進めます。塗った 「漆を塗っては研ぎ」を何度も繰り

### 蜀江蒔絵カードケース 金沢漆器商工業協同組合

Business card case with Shokko pattern Kanazawa Lacquerware Manufacturers Cooperative Association 蜀江蒔絵の豪華なカードケース。

塗り

•

Coating & Polishing



### 清瀬明人氏 蒔絵師 伝統工芸士

昭和44年大阪府堺市にて2代・一光の長男として生まれる。 5歳のとき金沢に転居。23歳より家業の蒔絵に従事し、絢爛 豪華な蒔絵のみならず若者らしい繊細な作風にも活路を見出し、 日々研鑽を積んでいる。漆は"生き物"であり、気温や湿度によっ て微妙に扱い方を変えなければならないところが蒔絵の難しさ だという。「誰にも負けないものを作るつもりで、一作一作に自 分が今できるすべてのことを注ぎ込む」ことが信念。金沢漆器 商工協同組合展・石川県知事賞など受賞多数。



充填する「刻苧(こくそ)」や、傷つきやすための工程です。木地の接合部や傷を

漆器の堅牢性や塗りの完成度を高める

和紙をあてて補強する「布着せ」といっ い部分に漆を塗り、その上に布または

清瀬 一光 作 Kiyose lkko

¥94,500

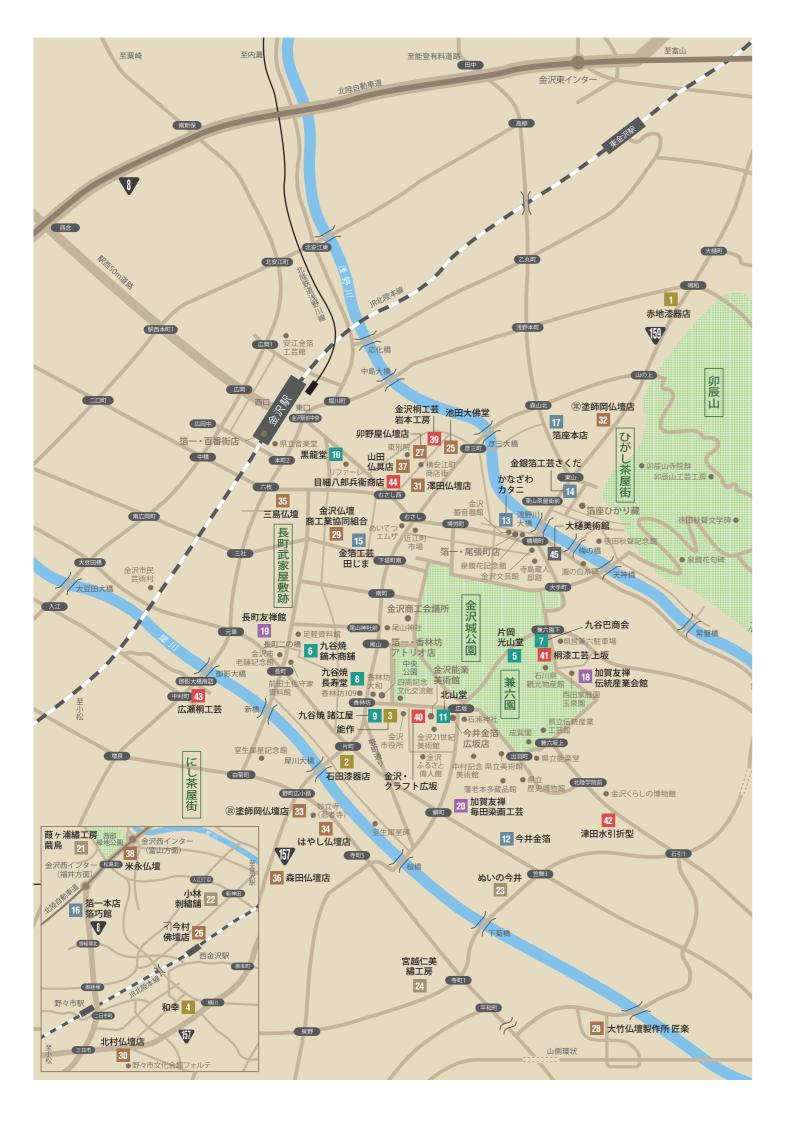


雨宿長棗 金沢漆器商工業協同組合 Long jujube-shaped tea case Kanazawa Lacquerware Manufacturers Cooperative Association ・ 小堀遠州好みの雨宿棗を写した長棗。



 $\dot{\tau}$  – Z : W70 × D110 × H50 mm

ペンダント:  $\varphi$  10 × H30 mm



漆

沢

九

箔

1 赤地漆器店

[URL] 赤地漆器店

〒 920-0805 金沢市小金町 12-2 **2** 076-252-8939

2 (株)石田漆器店

〒 920-0981 金沢市片町 1-7-21

**2** 076-261-2364 [E-mail] ishida@e-katamachi.con [URL] www3.nsknet.or.jp/~ishida/

3 (株)能作

〒 920-0962 金沢市広坂 1-1-60 **2** 076-263-8121

[URL] www.kanazawa.gr.ip/nosaku/

5 片岡光山堂

〒 920-0936 金沢市兼六町 2-1 **7** 076-221-1291 [URL] 片岡光山堂

6 九谷焼 鏑木商舗 金沢九谷焼ミュウジアム併設

〒 920-0865 金沢市長町 1-3-16 **2** 076-221-6666 E-mail] kanazawa@kaburaki.jp [URL] www.kaburaki.ip/

7 九谷巴商会

〒 920-0936 金沢市兼六町 2-13 **2** 076-231-0474 [E-mail] akira23@guitar.ocn.ne.jp [URL] 九谷巴商会 検索 🕟

8 九谷焼 長寿堂

〒 920-0961 金沢市香林坊 2-4-5 **3** 076-221-1822 [E-mail] honten@chojudo.com

[URL] www.chojudo.com/

12 (株) 今井金箔 〒 920-0968 金沢市幸町 7-3 沢

**3** 076-223-8989 [E-mail] info@kinpaku.co.jp [URL] www.kinpaku.co.jp/

13 かなざわカタニ

[URL] www.k-katani.com/

〒 920-0902 金沢市尾張町 2-16-80 **2** 076-231-1566 [E-mail] officedotcom@katani.co.jp

14 (株) 金銀箔工芸さくだ

〒 920-0831 金沢市東山 1-3-27

**2** 076-251-6777 [E-mail] kinpaku@goldleaf-sakuda.jp [URL] www.goldleaf-sakuda.jp/

15 金箔工芸 田じま

〒 920-0855 金沢市武蔵町 11-1 2F **7** 076-263-0221 [E-mail] info@tajima-kinpaku.co.jp [URL] www.tajima-kinpaku.co.jp

16 (株) 箔一本店 箔巧館

〒 921-8061 金沢市森戸 2-1-1 **2** 076-240-0891 [E-mail] info@hakuichi.co.jp [URL] www.hakuichi.co.jp/

17 箔座本店

〒 920-0843 金沢市森山 1-30-4 **2** 076-251-8941

[F-mail] info@hakuza.co.ip [URL] www.hakuza.co.ip/

協同組合加賀染振興協会 18 加賀友禅伝統産業会館

〒 920-0932 金沢市小将町 8-8 **2** 076-224-5511 [E-mail] info@kagayuzen.or.jp [URL] www.kagayuzen.or.jp/

19 長町友禅館

友

褝

〒 920-0865 金沢市長町 2-6-16 **2** 076-264-2811

mail] mail@kagayuzen-club.co.jp [URL] www.kagayuzen-club.co.jp/

4 (株)和幸

〒 921-8163 金沢市横川 7-43 **25** 076-247-4455 [E-mail] wakou@nsknet.or.jp [URL] www.kanazawa-wako.jp

金沢漆器商工業協同組合 金沢商工会議所内

☎ 076-263-1157 (土日祝休



(株) 能作

9 九谷焼 諸江屋

〒 920-0981 金沢市片町 1-3-22 **2** 076-263-7331 [E-mail] kutani@moroeya.com [URL] www.moroeya.com/

10 黒龍堂

〒 920-0853 金沢市本町 1-5-3 **3** 076-221-2039

[E-mail] kutani@kokurvudo.com [URI] www.kokurvudo.com/

11 北山堂

〒 920-0962 金沢市広坂 1-2-33 **7** 076-231-5288 [E-mail] office@hokusando.co.jp

[URL] www.hokusando.co.jp/ 金沢九谷振興協同組合

7 076-221-6666 [URL] kanazawa@kaburaki.jp

石川県箔商工業協同組合

☎ 076-257-5572 (土目祝休)



かなざわカタニ



(株) 金銀箔工芸さくだ





(株) 箔一本店 箔巧館

20 加賀友禅 毎田染画工芸

〒 920-0964 金沢市本多町 3-9-19 **2** 076-221-3365 F-mail info@maida-vuzen.com

[URL] www.maida-yuzen.co

協同組合加賀染振興協会

**2** 076-224-5511 [E-mail] info@kagayuzen.or.jp プガ

お気に入りの逸品を選ぶ時間をゆっくり楽しむ。 旅の折に訪ねたい、伝統工芸のショップガイド。(50音順)

21 葭ケ浦 はしがうら 繡工房 繭鳥 ほゆどりり 〒 920-0367 金沢市北塚町西 66-1

7 076-249-4989 「URL」「葭ヶ浦繍工房

22 小林刺繡舖 〒 921-8015 金沢市東力 1-130 **2** 076-291-5150

繡

仏

壇

hanamarumon@ [URL] 小林刺繡舖 検索・ 23 ぬいの今井 (有) 今井刺繍

〒 920-0967 金沢市菊川 2-10-12 **23** 076-231-7271

[URL] ぬいの今井

25 (株)池田大佛堂

**2** 076-222-5550

26 刁今村佛壇店

**25** 076-249-1366

27 卯野屋仏壇店

**75** 076-263-9570

**2** 076-244-4069

**2** 076-223-4914

30 北村仏壇店

**7** 076-248-3362

**2** 076-221-2212

[URL] 澤田仏壇店

**25** 076-231-5421

金沢能楽美術館内

41 桐漆工芸 上坂

**2** 076-264-1511

「URI] 桐漆工芸 上坂

**2** 076-265-3320

11 (株)澤田仏壇店

「URL」 大竹仏壇製作所

〒 921-8055 金沢市西金沢新町 178-1

〒 920-0854 金沢市安江町 15-44

[E-mail] nobuhikouno@ezweb.ne.jp

[URL] 卯野屋仏壇店 検索

28 (有) 大竹仏壇製作所 匠楽

〒 921-8046 金沢市大桑町 2-121

29 金沢仏壇商工業協同組合

〒 920-0855 金沢市武蔵町 8-2

[URL] kanazawa-butsudan.or.ip/

〒 921-8815 野々市町本町 5-4-7

〒 920-0854 金沢市安江町 3-15

39 金沢桐工芸 岩本工房

[F-mail] info@kirikougei.com

[URL] www.kirikougei.com/

₩ 金沢・クラフト広坂

〒 920-0854 金沢市安江町 15-43

〒 920-0962 金沢市広坂 1-2-25

[E-mail] info@crafts-hirosaka.jp

〒 920-0936 金沢市兼六町 2-15

E-mail] kiriuesaka@yahoo.co.jp

[URL] www.crafts-hirosaka.jp

[F-mail] info@kanazawa-butsudan.or.ip

[URL] 池田大佛堂

**2** 076-291-5150

小林刺繡舖内

[URL] hanamarumon@niftv.com

石川県加賀刺繡協同組合

24 宮越仁美 繡工房

URL] 宮越仁美 繡工房

75 076-243-2992

〒 921-8034 金沢市泉野町 1-12-12

mie sniff0213@vahoo.co.ir

検索

32 常 塗師岡仏壇店

〒 920-0854 金沢市安江町 5-7 〒 920-0843 金沢市森山 2-1-29 **3** 076-253-2201 [URL] 塗師岡顕治仏壇店 検索

33 竣 塗師岡仏壇店

〒 921-8031 金沢市野町 1-2-36 **2** 076-241-0795

[URL] |塗師岡政秀仏壇店 34 はやし仏壇店

〒 921-8033 金沢市寺町 5-5-17 **2** 076-241-8690 www.geocities.jp/ havashi butsudan/

35 三島仏壇 〒 920-0862 金沢市芳斉 2-4-2

**2** 076-221-8015

36 森田仏壇店 〒 921-8031 金沢市野町 3-2-38 **2** 076-241-1375

[E-mail] butudan2429@athena.ocn.ne.jp [URL] www5.ocn.ne.jp/~butudan/

37 (有) 山田仏具店

〒 920-0854 金沢市安江町 13-32 **2** 076-221-2306

[F-mail] info@vamadabutsuguten.co.ip [URL] yamadabutsuguten.co.jp/

38 (株)米永仏壇

〒 920-0058 金沢市示野中町 1-10 **2** 076-221-1930 [URL] w2223.nsk.ne.jp/~yonenaga/

42 (有) 津田水引折型

〒 920-0935 金沢市石引 2-2-5 **25** 076-224-9023 [F-mail] info@mizuhiki in [URL] www.mizuhiki.jp/

43 広瀬桐工芸

〒 921-8022 金沢市中村町 30-20 **2** 076-241-2544

44 目細八郎兵衛商店

〒 920-0854 金沢市安江町 11-35 **7** 076-231-6371

[E-mail] webmaster@meboso.co.ip [URL] www.meboso.co.jp/

**3** 076-221-2397

 $\mathcal{O}$ 

大樋焼本家十代長左衛門窯 45 大樋美術館

〒 920-0911 金沢市橋場町 2-17 [URL] www.ohimuseum.com



金沢能楽美術館 www.kanazawa-noh-museum.gr.jp 〒 920-0962 石川県金沢市広坂 1-2-25 TEL.076-220-2790 / FAX.076-220-2791 開館時間 / 10:00 ~ 18:00 (入館は 17:30 まで) 休館日/月曜日 (休日の場合はその翌日)、年末年始 ※展示替などで休館することがあります。



【編集・発行】 金沢工芸普及推進協会 〒920-0962 金沢市広坂 1-2-25 TEL 076-265-3320 FAX 076-265-3321 E-mail info@crafts-hirosaka.jp http://www.crafts-hirosaka.jp

### 【編集協力】

金沢漆器商工業協同組合金沢九谷振興協同組合石川県箔商工業協同組合協同組合加賀染振興協会石川県加賀刺繡協同組合金沢仏壇商工業協同組合

【取材・撮影協力】 金沢市 金沢21世紀美術館 (財)石川県デザインセンター (株) コボ STUDIO YUTAKA 古場田デザインスタジオ (株) ケイアイデザイン (株) 町屋金沢 住友不動産(株) シティハウス金沢犀川販売センター (有)津田水引折型 成巽閣 石川県立音楽堂 (株) ザ・スタジオ

【制作・印刷】 ヨシダ印刷 株式会社

石川県染物商工業協同組合

[「ステキ」のホームページを開設しています] www.crafts-hirosaka.jp



Craft shop "Kanazawa Craft Hirosaka"

**金沢・クラフト広坂** www.crafts-hirosaka.jp
〒 920-0962 石川県金沢市広坂 1-2-25 金沢能楽美術館内
TEL.076-265-3320 / FAX.076-265-3321
営業時間 / 10:00 ~ 18:00
定休日 / 月曜日 (休日の場合はその翌日)、年末年始



